

豊田市長 様

提 言 書



令和6年3月18日
石野地域会議

石野地域会議委員一覧

50音順・敬称略

氏名	ふりがな	自治区	備考
阿部 金一	あべ きんいち	力石町	
伊藤 充繁	いとう みつしげ	小峯町	
宇野 文康	うの ふみやす	勘八	
川井 秀和	かわい ひでかず	下室町	
川井 正弘	かわい まさひろ	下室町	
河原 美枝子	かわはら みえこ	東広瀬下切	
小池 伸二	こいけ しんじ	野口	
小山 伸二	こやま しんじ	勘八	
鈴木 敬樹	すずき けいじゅ	中金町	
富田 和久	とみだ かずひさ	富田町	会長
中田 実	なかたみのる	東広瀬下切	
藤村 信治	ふじむら しんじ	押沢	
松井 茂	まつい しげる	中金町	
溝上 喜美男	みぞかみ きみお	小峯町	副会長
三宅 乃婦香	みやけ のぶか	七重(寺下)	
森久 剛	もりひさ つよし	松嶺	

提言 ～駅舎と廃線敷の魅力向上～

1 背景・課題

石野地区では、平成 16（2004）年に名鉄三河線猿投駅～西中金駅が廃止になって以来、愛着のある駅舎、廃線敷の綺麗な景色を残そうという団体が地域住民により組織され、三河広瀬駅、西中金駅の駅舎を中心として、環境整備やカフェ、産直販売をするなど、地域の交流・活動の場になっています。

当初は「でんしゃみち整備計画」などの廃線敷利活用の計画がありましたが、市の方針転換により、現在は市による地域課題解決事業（旧・地域予算提案事業）と地域団体によるわくわく事業の両輪で活用を進めています。

しかし、団体によっては結成から 20 年近い年数が経過しているため、高齢化と会員数の減少が進んでいます。それに伴い、草刈り・清掃などに不安を抱えているといったような、活動の継続・活性化という面で課題が出始めています。

現状は、各団体の個別の活動に委ねられていて、規模も小さく、地域住民からの認知も高くありません。駅舎と廃線敷を引き続き地域の交流・活動の場として活用しながら、魅力を向上し盛り上げていくためには、団体間と市の連携を強化し、目指すべき廃線敷のビジョンを考え、共有し、効果的に駅舎と廃線敷の活用・整備に取り組むことが必要だと考えます。

そのため駅舎と廃線敷について、団体による活動の継続と活性化、また魅力向上により地域住民が守り、誇れる名所スポットとなることを目指して、以下について提言させていただきます。

2 解決方針

今後も引き続き駅舎と廃線敷を地域の交流・活動の場として活用し、また魅力を向上していくには、廃線敷に関わる全員で共有する今後の整備・活用のビジョンの作成や課題の整理と、情報共有・連携による共働での事業の実施が不可欠です。そのため、下記の協議体発足への支援・協力をお願いします。

3 取組内容・期待する効果

（1）協議体の組織（短期）

地域団体・地域住民・市により構成される駅舎と廃線敷の協議体を組織し、後述の取組内容についての協議を行う場とします。市と地域団体の連携・情報共有の場として活用します。

（2）廃線敷活用ビジョンの作成・現状の課題整理（中期）

協議体により、駅舎と廃線敷の今後の目指すビジョンの作成と、トンネル等の利活用の課題やイベントの開催なども含め、検討・整理を行います。実施の可否や優先順位などを考慮し、取り組むべき事業を精査します。

（3）地域団体・市の共働や、団体同士の連携による取組の実施（長期）

作成したビジョン等に基づき、事業を実施します。市と地域団体の共働や、団体同士の連携により、効果的な活用・整備をすることで、活動の継続・活性化に加え、更なる魅力向上により、市内の矢作ダム、旧伊勢神トンネル（伊世賀美隧道）等のインフラ施設と並ぶ、石野の誇れる場所となることを期待します。